

地域づくりと生涯学習

－兵庫での試み－

Regional Development and Lifelong Learning
-The Challenge in Hyogo-

兵庫県立大学 大学院 緑環境景観マネジメント研究科

兵庫県立 人と自然の博物館

中瀬 勲

Graduate School of Landscape Design and Management, Univ. of Hyogo
Museum of Nature and Human Activities, Hyogo

Isao NAKASE

本日の目次

兵庫は生きもの宝庫

- 1: これからの生涯学習
- 2: 人博での生涯学習試行モデル
- 3: 多世代交流: 共生の広場などを例に

まとめにかえ

●兵庫は生きものの宝庫！



植物 約2000種

そのほかの分類群でも多数の種が生息！

●ひょうごの生物多様性の恵み ～たとえば“食”～



●兵庫は市民活動の宝庫！

日本野鳥の会兵庫県支部

ほ乳類 鳥類

森のインストラクター

ブナを植える会

陸産貝類

播磨ウエットランド
リサーチ

農・都共生ネット神戸

阪神グリーンネット

「生物多様性兵庫戦略」が策定されました。

(うち在来種157種)

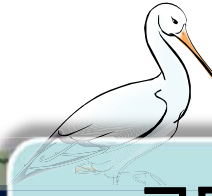
「県民の参画と協働の推進に関する条例」

まで準備されています。

爬虫類

●兵庫は市民活動組織の宝庫！

鳥類 562種



上山高原
エコミュージアム

鳥の会

コウノトリ
市民研究所

陸産貝類
130種



北播磨
田園空間
博物館

丹波の森構想、
協会

宍粟
森林
王国

農都ネット神戸

東播磨ため池
ミュージアム

尼森の会

阪神ネット

両生類 19種

淡水魚180種
(うち在来種157種)

植物 約2000種



爬虫類

1 これからの地域づくりと 生涯学習

● 社会的背景 (全国: 潮流)

20世紀

21世紀

経済成長期

- 地球環境問題の深刻化
(生態系破壊, 温暖化)
- 大量生産, 消費, 廃棄社会
- 物質中心主義

安定成長期

- 生態系の修復
- 循環・共生社会
- 人口減少・高齢社会
- 地域環境主義

成熟(社会)期

- 生物多様性の保全
- 地域生態系の保全
- 外来種対策
- 環境優先社会
- 成熟社会
- 参画と協働
- 生活質中心主義
- 個の確立, 新しい公
- 生涯学習, 環境学習

●社会的背景(兵庫県:多様性)

環境

- 瀬戸内海から日本海まで多様な自然・環境
- 里山保全発祥の地
- 多発する震災, 水害, 土砂災害

生活

- 五国(播磨, 但馬, 淡路, 摂津, 丹波)の文化圏
- 活発な地域間, 流域単位, 都市・農村の交流
- 震災経験に基づく参画と協働

行政(施策)

- 環境先進県
- 外来種問題対策
- 里地・里山整備
- 県民の参画と協働
- 地域でのまちづくり活動
- 地域ビジョン

●生涯学習の役割

胎教音楽

冒険学習

環境教育

胎教から墓場まで

人が学ぶ喜びをかきたて・支援する

風俗・文化

地域づくり

個の確立

生き甲斐, 確かな価値観,
環境への理解

地域コミュニティの創出

新しい「公」, 協働, 地域づくり

2 人と自然の博物館での 生涯学習試行モデル

● 兵庫県立大学自然・環境科学研究所の構成



田園生態系

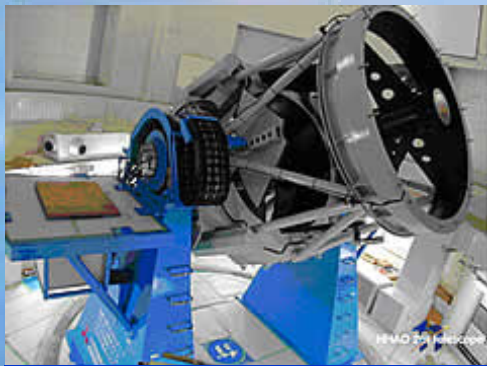
・田園生態保全管理
研究部門
(教員数:4名)

- ・地球科学研究部門
- ・系統分類研究部門
- ・生態研究部門
- ・環境計画研究部門
- ・生物資源研究部門
(教員数:24名)



ひとく

自然環境系



宇宙天文系

・宇宙天文研究部門
(教員数:3名)



あわじ

景観園芸系



森林動物系

・森林環境マネジ
メント研究部門
・野生動物マネジ
メント研究部門
(教員数:6名)

- ・緑地生活・文化研究部門
- ・景観要素研究部門
- ・景観デザイン研究部門
- ・都市景観保全管理研究部門
(教員数:15名)

● 開館当時の博物館の機能

「*思索し、行動し、提言する*」

自然・環境系博物館

展示

資料収集

普及教育

ジーンバンク

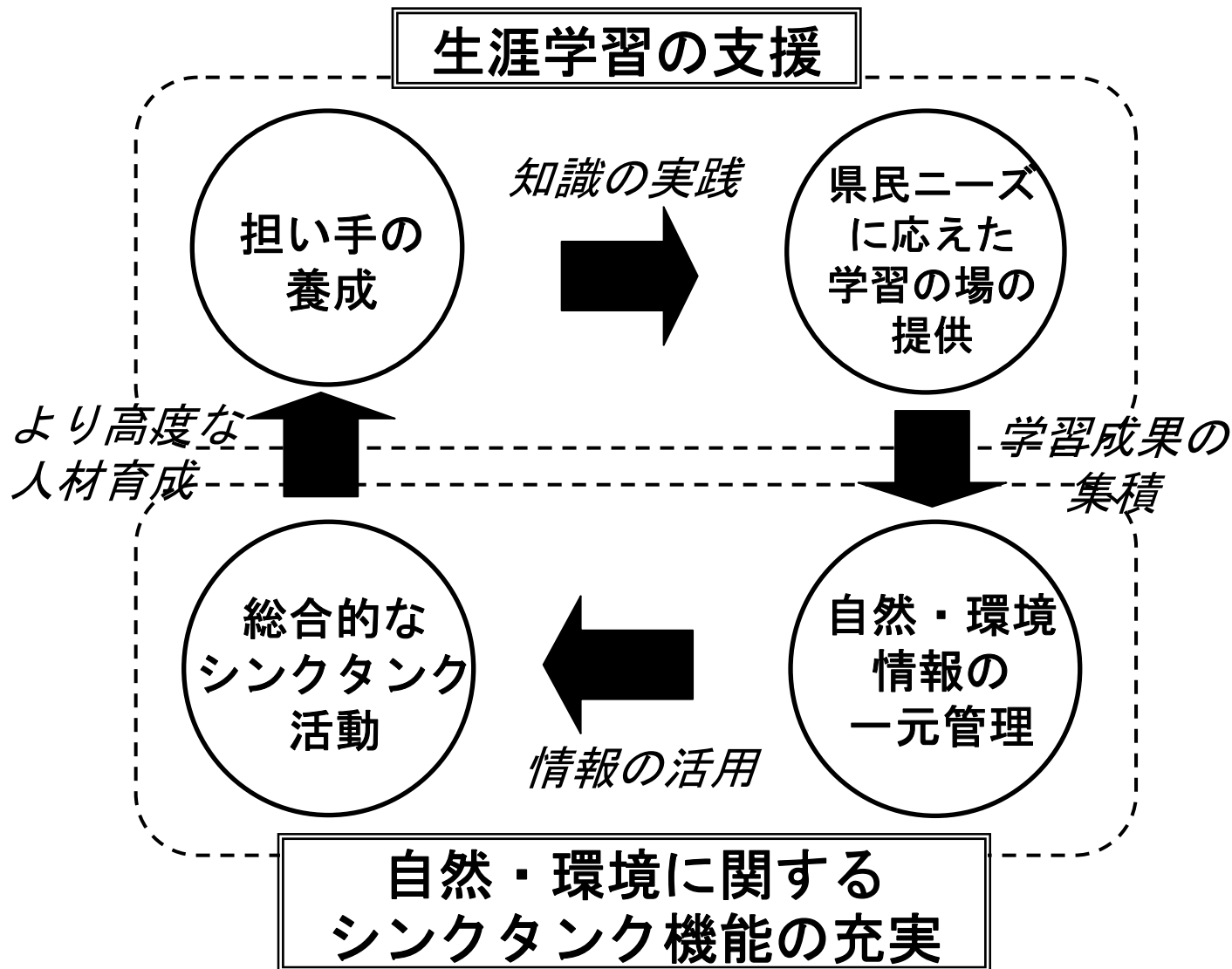
データバンク

調査研究

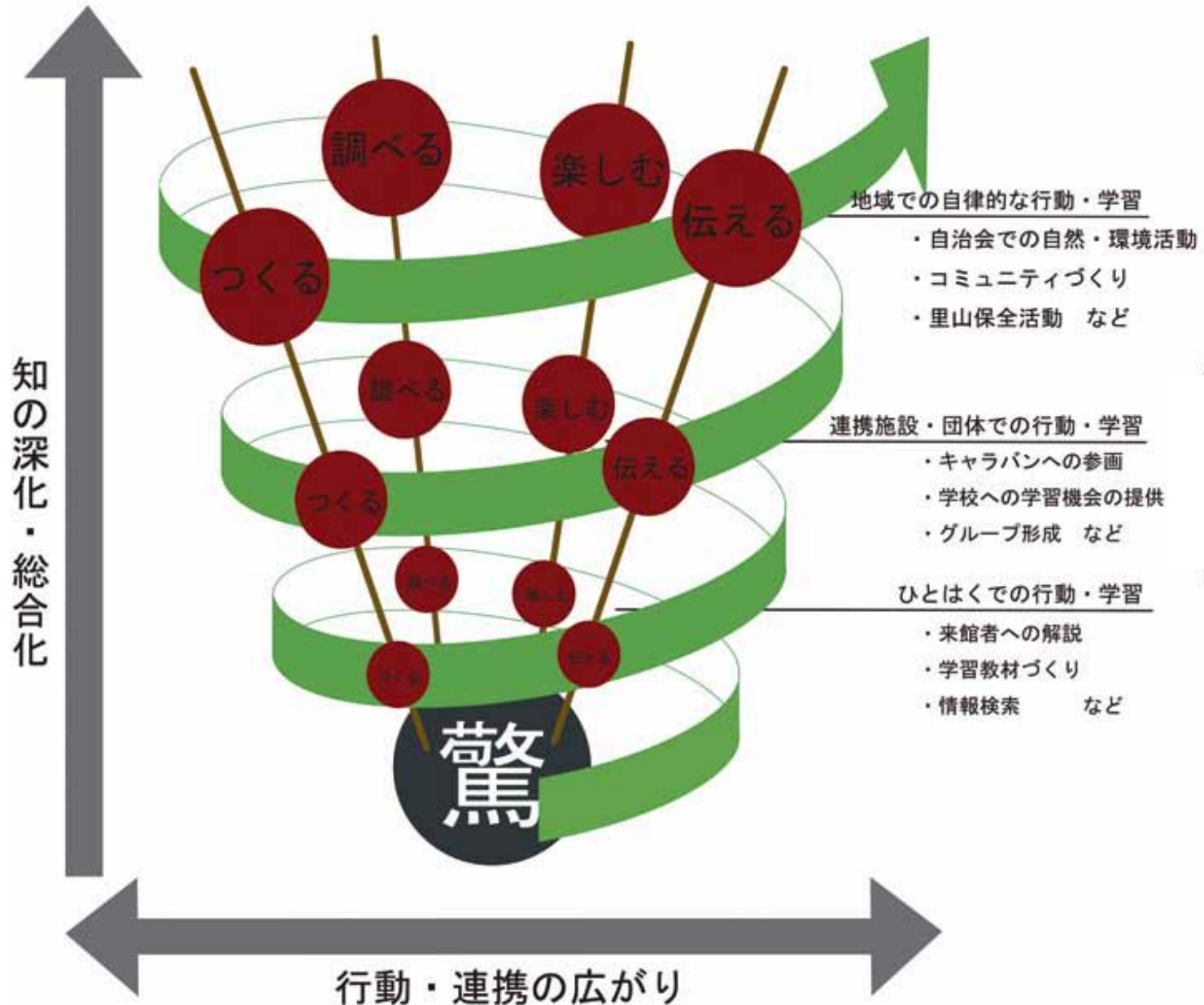
学术交流

シンクタンク

●重点事業と展開方針



●生涯学習のスパイラル・アップ



● 担い手の養成 (学習機会の提供)

＜セミナーの充実＞

- ・年間300以上のセミナー開催
- ・セミナーガイドの刷新と、研究員の顔が見える工夫
- ・「ひとはくセミナー倶楽部」によるサービス提供と意見収集
- ・一般セミナー中心から、教職員セミナー・キャラバンセミナー・オーブンプチセミナー・教材開発研究会など多様なサービスに拡大
- ・「教える」セミナーから、「学びを支える」セミナーに発展



ひとはくは
生涯学習を
応援します

2004 ひとはく手帖
(セミナーガイド)

● 県民ニーズに応えた学習の場の提供

＜キャラバン事業の実施＞

・県下10地域で毎年1カ所ずつ
ひとはくキャラバンを開催

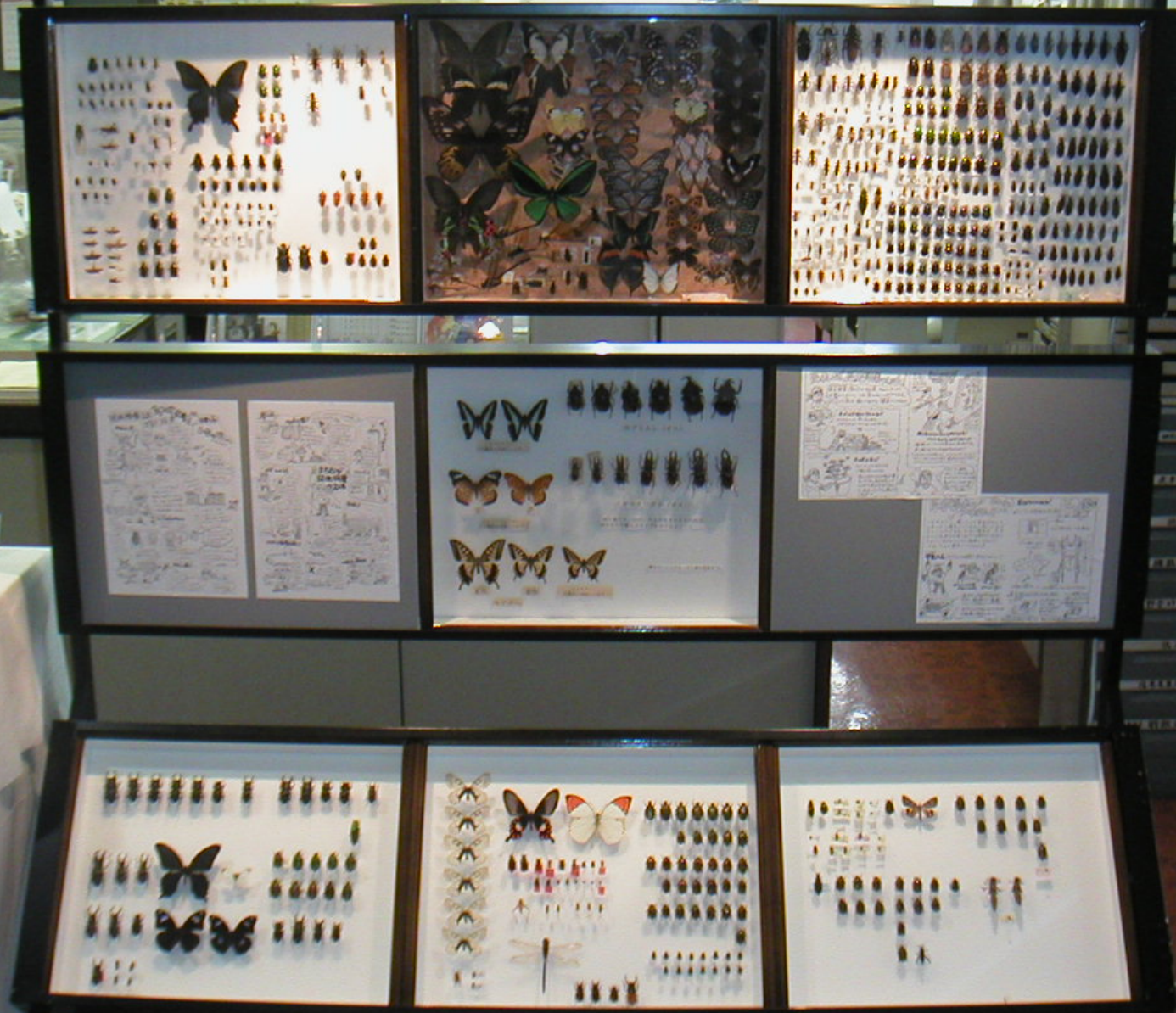
・主催は地元団体などから構成される**地域実行委員会**

・博物館の迫力ある展示と、地域の自然・環境を紹介する**地元展示**

・地域の課題に即した**セミナー**の開催



● 全て地域実行委員会からの出展





阪神南で育む自然

都市で育む自然

adidas

nest

自然観察日記
観察場所：大阪府堺市
観察日時：平成18年7月14日
観察者：山田太郎

自然観察日記
観察場所：大阪府堺市
観察日時：平成18年7月14日
観察者：山田太郎

自然観察日記
観察場所：大阪府堺市
観察日時：平成18年7月14日
観察者：山田太郎

自然観察日記
観察場所：大阪府堺市
観察日時：平成18年7月14日
観察者：山田太郎

● 野鳥の会が初めて街中で探鳥会を



● 自然・環境情報の一元管理

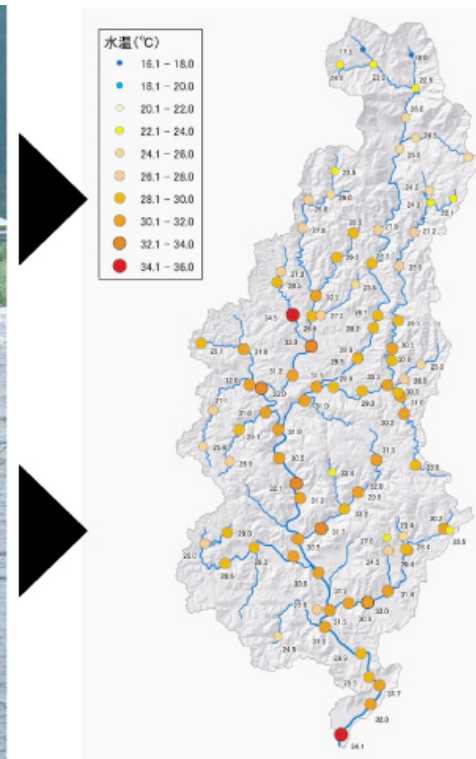
＜自然・環境DBの構築＞

・GIS(地理情報システム)を用いて**兵庫県下の自然・環境**情報を一元管理(植生図, 生物分布情報, 景観写真など)

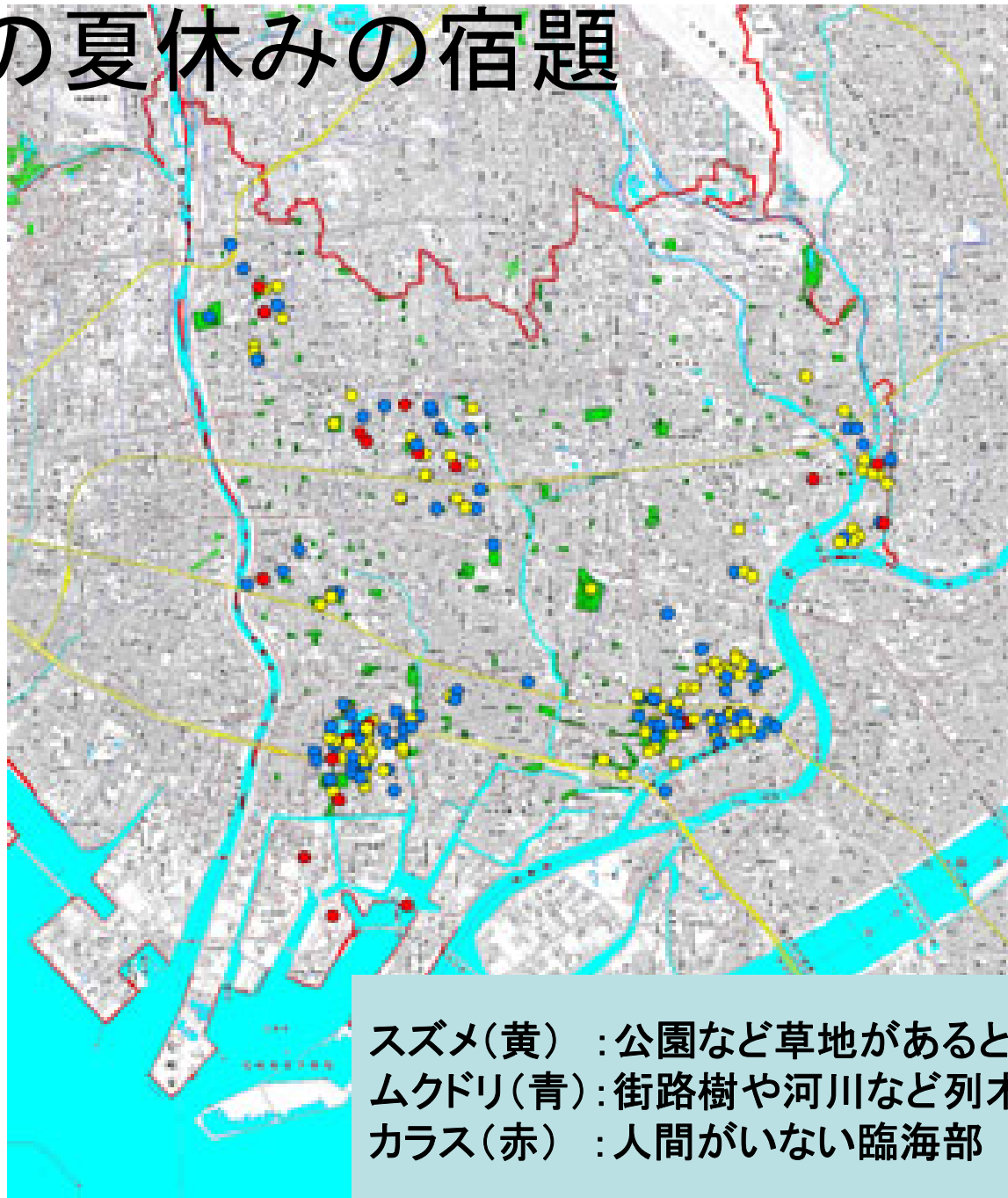
＜県民リサーチの活用＞

・リサーチプロジェクトなど, **県民による地域の自然・環境調査**の結果を, ひとはくで公開, 活用する。

・ひとはくで製作したホームページは**地域でも随時データ更新**が可能なものとし, 継続的な学習を支援。



●小学生の夏休みの宿題



● 総合的なシンクタンク活動 ワイルドライフ・マネージメント

現状調査

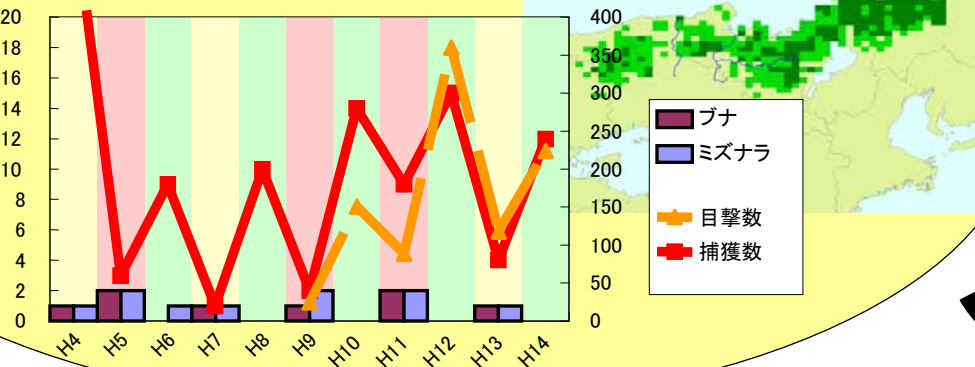


効果の
検証

- ・被害状況調査
- ・学習放獣個体追跡
- ・出没状況調査
- ・捕獲個体の分析

分析・解析

森の実りと、クマの出没や捕獲の関係



・生息密度

・出没要因

- ・対応基準
- ・被害対策
- ・保全対策
- ・生息環境整備

適切な捕獲と防除の実施

- ・保護管理計画
- ・追い払い
- ・学習放獣
- ・生息環境整備

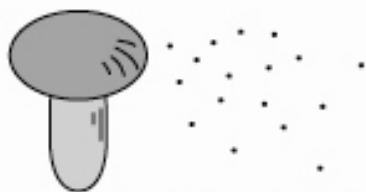


施策の提言

● ひとつはくの生き方(キノコモデル)

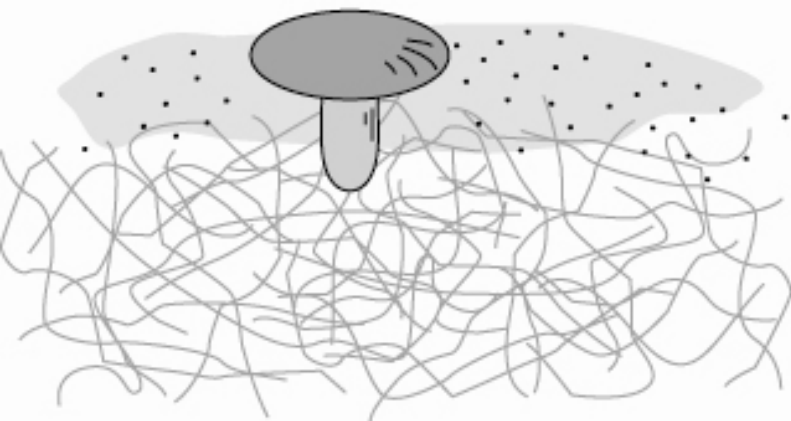


- 第1期 (~1992) 準備室
種をまいて、だいに育てた

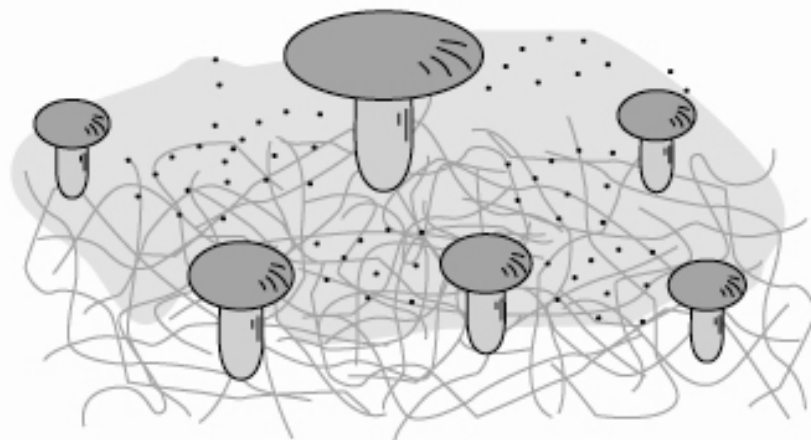


- 第2期 (1992~2000) ひとつはく開館
キノコが1本三田に生えた。カサを開いて、胞子を飛ばしはじめる。

キノコは・・・
どこに出てくるかわからない。
菌糸は目に見えないが、着実に寄主を蝕んで
いる。
「個体」はない。すべて一体である。
「死」はない。キノコは一時的な姿である。
「毒キノコ」もある。



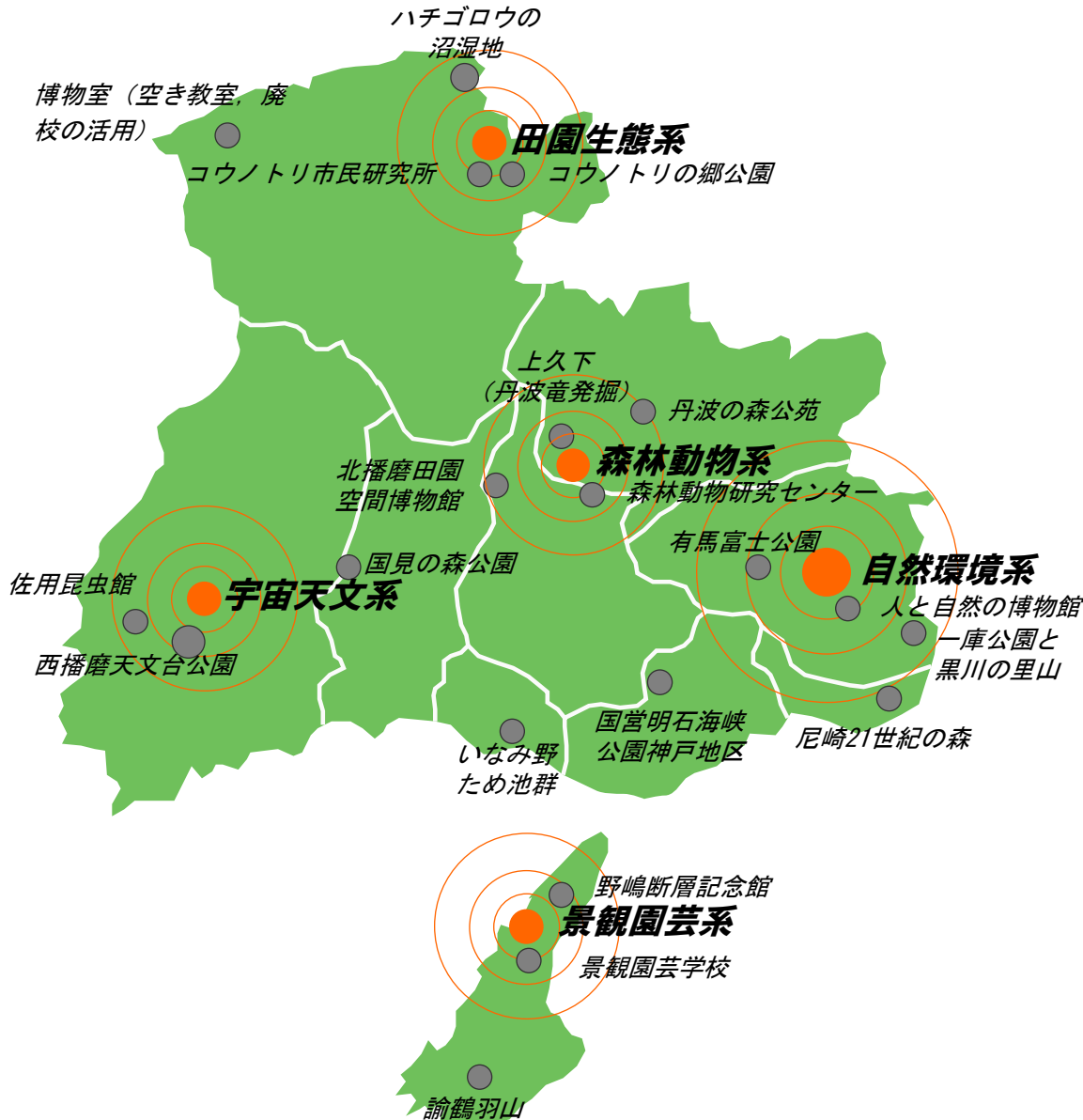
- 第3期 (2001~2006) 新展開
キノコはさらに大量の胞子を飛ばし、全県に菌糸
を張り巡らせる。



- 第4期 (2007~2011) 全県エコ・ネット・ミュージアムの本格展開
いろんな地域にキノコが発生し、それぞれが胞子を飛ばしはじめる。

- 第5期 (2012~) ひとつはく移転
三田のキノコは朽ち果てる。最も新鮮かつパワフルな(すなわち居心地のよい)キノコに活動拠点を移す。
・・・以後くり返し。

● 多様なフィールドを持った研究組織



- ・教員の高い自由度によるシンクタンク活動
- ・博物館の普及啓発フィールド

支援先を研究フィールドにした
実践型研究の推進

●ボルネオジャングル体験スクール

・参加者

DANUM VALLEY FIELD CENTRE

兵庫県下の小学校5年から高校2年の18人

マレーシアダハダーサイセンススクール生4人

・スタッフ

副館長、研究員2人、

主任指導主事、指導主事、

シヤンクル専門家、看護師、

添乗員(小計8人)

現地駐在研究員、

現地スタッフ2人(サバ大学)、

現地ガイド3人(小計6人)

: 計14人 + α

・主催: 兵庫県立 人と自然の博物館

・協力: マレーシア大学サバ校

生物多様性研究センター

兵庫県立人と自然の博物館
ボルネオ ジャングル体験スクール



樹上に何かがある！



オランウータンでした





ロッジでの休息

3 多世代交流

共生の広場などを例に

● 兵庫県の環境学習・教育の推進

米・野菜づくりなどを通じた自然体験学習

環境や生命の大切さを理解する人づくり

幼児からシニア世代まで、ライフステージに応じた展開

■ ひょうごっこグリーンガーデン事業

(幼稚園・保育所園児、6歳以下)

草花の栽培、公園での自然観察 など

■ 環境体験事業

(小学3年、9歳、年3回(3日))

・種まき・収穫作業、里山体験 など

■ 自然学校

(小学5年、11歳、5泊6日)



●丹波の灰屋（丹波の森大学、大学院）



はんや、焼き土、
バイオマス



● 共生のひろば展示風景



● 第4回共生のひろば受賞発表

・館長賞

「特に**優れた**発表と認められる賞

共生の広場

・名誉館長賞

「**ユニークな**発表」に対して授与される賞

・審査員特別賞

「**データ量や活動量など努力量の多い**内容や
継続的な活動」に対し授与される賞

・注目大賞

会場から多くのメッセージを得た発表に対する賞

まとめにかえて

● 生物多様性に係わる 兵庫の施策の理念と取り組み

<美しいひょうご>づくりに向けた
地域環境の保全・生き物との共生

環境
創生

県民による地域の自律的
マネジメント



地域
づくり

次代を担う子ども達への
生きた環境学習



担い手
育成